

第4回ワークショップ実施報告書

－ 実現したい市川三郷町の将来像を考える －

- 【開催日時】 2024年2月3日（土）10:00 - 12:00
- 【開催場所】 市川三郷町役場大会議室
- 【参加人数】 15名
- 【配布資料】 10年後を描く住民ワークショップ<第4回>資料（ppt）

【スケジュールと項目】

本日の予定	
10:00～	開会の挨拶
10:05～	本日の進め方の説明
10:15～	自己紹介
10:20～	ワークショップ（WS） 実現したい市川三郷町の 将来像を考える
11:40～	WSからの発表
11:55～	閉会の挨拶

【ワークショップ】

第4回では、第2・3回で抽出していただいた町の強みや弱みを踏まえて、どのような町をめざしていくのかの町の将来像について考えいただき、さらに将来像を実現するための目標についてもチームで話し合った結果を、最後にチームごとに発表していただきました。

本日の進め方

本日のテーマ

実現したい市川三郷町の将来像を考える

ステップ1
目指したいまちの**キーワード**を考えてみよう（各自で）

ステップ2
キーワードをヒントに**将来像**を考えてみよう（各チームで）

ステップ3
市川三郷町としての10年後の**目標**を考えてみよう（各チームで）

ステップ4
本日の成果を発表する（各チームから全体に）

8

本日の進め方

ステップ1～3

将来像と目標の模造紙

〈フレーズ・メモ〉

- と●●
- なまち
- まち

〈将来像〉

●●●●●●●●●●

〈目標〉

- を増やす
- を減らす
- を増やす
- を増やす

16

【発表内容】

《チーム1》

【将来像】 幸福度日本一の町

- お金に頼らない。自分たち作ったものはシェアできる仕組みづくり
- 車のシェアの仕組み（運転が苦手やできない人と）
- 人口を増やしていく、お金を集めるの発想は面白くない
- LINEでグループを作って味噌づくりを募った
- あるものを使ってそれをどのように活かしていくのが大事



《チーム2》

【将来像】 生涯を通して健やかに！！

“人と自然との共生”

- 地場産業の担い手を増やしていく
- 介護に頼らないよう健康寿命を延ばしていく
- 人とのつながりの場を増やす（つながりが希薄なので、町を知るきっかけ（マルシェなどを開催）
- 市川三郷町の日を作る 13日とかを設定してイベントを開いてはどうか。



《チーム3》

【将来像】 つながる輪！！楽しい話！！

すてきだ和！！行きたいわ

いちか“わ”みさと！！

- 分かりやすい将来像が大事。
- 住んでいる人が楽しめるものが良い
- 人間関係が希薄なので、つながる輪が大事その中でアイデアも生まれる
- 人が繋がれば魅力的になって、訪問者も増える



《チーム4》

【将来像】日本初！！財政TOPPA！！
こぴっと0からやらだ～
あつまれキッズ☺
こどもどまんなか市川三郷

- どこからでも行ける公園を作る ○宿泊施設を作る
- つむぎの湯をPRする
- 無料駐車場が各駅にあればいいし、駅ごとにレンタサイクルがあればよい。
- 観光農園は人参やもろこし、レモン刈りができればファミリー層もあるまる
- 町民が特産物を買える場所がない。
- 観光マップや年間スケジュールを作ると良い。



以上

【WS風景】

